

# 平成25年度 事業報告書

公益社団法人

津地区医師会

## 平成25年度事業報告

津地区医師会は、市民とともに歩む専門家集団としての医師会を目指して国民皆保険の堅持を主軸として事業を展開し、真に市民から求められる医療提供の実現に向けて平成25年度の各種事業を実施してまいりました。

また、懸案事項でありました「公益法人化」についても4月に三重県知事の認可を受け、「公益社団法人津地区医師会」として今年度から新たなスタートをしたところでございます。

公益法人化については、会員の皆様方には一方ならぬご理解とご協力を賜りましたことを改めて感謝申し上げます。

申すまでもございませんが、公益法人はより一層公益性が高い法人が認可されるものであり、津地区医師会が行っている様々な活動の公益性が高く評価されたものであり、将来に向けて更なる期待を寄せられているものでございます。

今後は公益性を強く意識しながら、市民の健康を守り、質の高い医療を提供すべく、会員一体となって諸事業に邁進していかなければなりません。

一方、共益性がそのために軽んじられてはならず、会員向け活動の活性化に取り組み、会員にとってメリットのある事業にも目を向けていかなければなりません。

公益目的事業として認められました ①地域の保健・福祉の向上による住民の健康増進を図る事業 ②看護専門学校事業 ③地域包括支援センター事業 ④介護支援事業は、真に市民が求めている事業であるとの認識から幅広い事業展開を図ってまいりました。

さらに、巨大災害時における会員のとるべき対応等を議論し、行政とともに具体的な行動指針の検討を行い、市民の安心・安全の確保に寄与してきたところです。

医師会を廻る昨今の厳しい状況のなかで、これらの事業を力強く展開し津地域における医療安全と質の向上を図っていくために、津地区医師会としては今後とも日本医師会及び三重県医師会との連携を強めるとともに津市及び久居一志地区医師会、津歯科医師会、津薬剤師会、三重県看護協会、さらには本年4月に発足しました三重大学医師会との連携をより一層深め医師会事業の活性化を図っていく所存でございますので、会員各位にはこれまで以上のご協力を心からお願い申し上げます。

## I. 地域の保健・福祉の向上による住民の健康増進を図る事業

住民の健康を通して地域社会の健全な発展を進めるため、医師の研鑽により医学水準の向上を図る医学教育、住民の健康増進に直接かかわる健康啓発・広報、健（検）診、予防接種、母子保健、学校保健、救急医療対策、介護保険制度円滑化対策、地域連携対策、災害対策、医療安全対策、産業保健の他、住民の健康を守る対策等を協議する医療関係団体等連絡調整など様々な事業を実施いたしました。

### (各事業の概要)

#### (1) 医学教育事業

質の高い医療を提供し、住民の健康増進に寄与するため日頃から医師の自己研鑽が必要である。そのため、最新の知識と技術を学ぶ場として、また、住民の健康保持・増進を図るための専門知識と技能を整理する場として日本医師会生涯教育制度を活用し、医学研修会・講演会・症例検討会を開催いたしました。

なお、久居一志地区医師会とは密接に連携し、医学研修会等を共催するとともに、三重大学医学部の各専門教室と共催して医師だけでなく医療関係者を対象になるべく多くの受講機会と各専門分野にわたる知識の研鑽の場を提供いたしました。

また、医療の高度化による専門分野での医学研鑽の重要性から、当医師会の内部に診療科別の医会を設けて研究活動を実施いたしました。

#### (2) 健康啓発・広報事業

市民を対象に、健康啓発講演会、健康相談等を実施する健康イベントを2回開催し、健康づくりに関しての普及啓発を行うとともに、毎月発行の「安の津医報」やホームページにより市民及び関係機関に対し当医師会事業等の情報を提供いたしました。

#### (3) 健（検）診事業

津市から特定健康診査、後期高齢者健康診査、介護予防診査、各種がん検診等に係る事業を受託し、会員医療機関で検診等を実施いたしました。

また、その健（検）診事業を安全に実施するための説明会や講習会を開催いたしました。

#### (4) 予防接種事業

津市から「予防接種法」に基づくBCG、二種混合、日本脳炎等の定期予防接種の他、子宮頸がん等ワクチン摂取の事業を受託し、感染防止の対策を図るとともに予防接種事業を行う医療機関に対し安全で確実な予防接種を行うための研

修を実施いたしました。

#### (5) 母子保健事業

津市が行う「母子保健法」に基づく1歳6か月及び3歳児健康診査の実施に際に医師を派遣し、適切な指導・助言を行うとともに、乳幼児に係る様々な課題を検討するため行政と定期的に検討会を実施いたしました。

また、津市からの委託により行っている出産前後の妊婦に対する「すこやか相談」（医療機関内での面接相談）の実施にあたり、協力機関等との調整を行いました。

#### (6) 学校保健事業

津市教育委員会及び三重県教育委員会等からの要請により、保育所・幼稚園、小・中学校及び高等学校に医師（小児・内科・眼科・耳鼻科）を派遣し、児童生徒に対し日常の健康指導を行うとともに、学校職員の健康指導も行いました。

さらに、校医・園医等の資質向上のための研修会を開催し、学校保健の向上に努めました。

また、児童生徒の健康管理の徹底を図るため、津市教育委員会と委託契約を締結し、小・中学校の第1学年を対象に心臓検診を行いました。

#### (7) 救急医療対策事業

##### ア) 一次救急対策

住民の安心で安全な健康保持に寄与するため、津市と委託契約を締結するとともに久居一志地区医師会及び三重大学付属病院と連携して休日応急診療（毎日曜日・祝日診療：津市大里窪田町）、夜間成人応急診療所（毎夜診療：リージョンプラザ内）、夜間子ども応急クリニック（毎夜診療：津市大里窪田町）、久居休日応急診療所（祝日診療：久居一志地区医師会館内）へ医師（管理者も兼ねる）を派遣するための当番医および担当日の設定調整に当たりました。

また、毎年年末・年始（12月31日、1月1日、2日、3日）には、内科及び小児科の会員医療機関が当番で応急診療の対応に当たりました。

##### イ) 二次救急対策

救急医療対策は喫緊の課題となっており、市内の二次救急輪番病院（永井病院、遠山病院、武内病院、吉田クリニック、大門病院、津生協病院、榊原温泉病院、小渕病院、岩崎病院、三重中央医療センターの10病院）と三重大学付属病院、三重病院、当医師会・久居一志地区医師会及び津市、三重県を構成メンバーとする二次救急対策協議会を設置し、救急医療対策の推進に

努めました。

特に、二次輪番病院の勤務医の疲弊が進み、救急医療に支障をきたしていることから大学病院からの医師派遣を調整するとともに、会員である開業医師による二次輪番病院への派遣協力体制の整備も行いました。

#### ウ) 救急医療機関活動

救急医療対策を少しでも充実させるため、救急病院・救急診療所として告示した医療機関（国立、公立、公的病院を除く）に対して救急隊により搬送される傷病対応にかかる経費の一部を助成いたしました。

#### (8) 介護保険制度円滑化対策事業

津市の要請を受け、介護保険認定審査会の委員に会員が就任するとともに、主治医意見書作成にかかる研修会を実施し、介護保険制度の円滑な運営支援を行いました。さらに、行政、介護事業者及び医師会のメンバーからなる介護保険事業推進懇談会に参加し、介護保険制度の課題について検討を行いました。

#### (9) 地域連携対策事業

高度化、専門化している今日の医療現場において、医療機関相互の役割に応じた連携がますます必要となっており、特に病院と各診療所との連携は重要であります。その一つとして、平成3年12月に小児分野で県下唯一の小児専門二次救急病院である三重病院と津地区医師会所属の診療機関で「津地区医師会オープンシステム」を立ち上げ、診療所医師と三重病院担当医師が協力して診療に当たるシステムの構築を図りました。

また、平成24年度から当医師会に在宅医療委員会を立ち上げ、地域の病院と診療所の相互連携を確立し、在宅医療制度の定着を図りました。

#### (10) 災害対策事業

当医師会は、津市地域防災計画の救護班としての役割を担っており、津市総合防災訓練への参画や津市消防本部との意見交換を重ねておりますが、平成23年3月に発生した東日本大地震の教訓を踏まえ、平成24年度から当医師会内に大規模災害救護医療に関する対策委員会を立ち上げ、行政との一層の連携の下、大規模災害時における市民の生命の安全を確保するための対策を推進するために、災害時における救急医療体制の見直しの検討を進めています。

#### (1 1) 医療安全対策事業

医療事故は医療機関の大小にかかわらず発生しているが、主にその対策は大病院を中心に取られてきたため、平成22年度から久居一志地区医師会、津歯科医師会、津薬剤師会、県看護協会と合同で対策委員会を設置して最新の知識を有している講師を招聘し、合同医療安全研修会を年2回開催し中小の医療機関の医療安全の推進に努めてまいりました。

#### (1 2) 産業保健事業

地域労働者の健康保持の増進を図るため、従業員50名未満の小規模事業所の従業員の健康保持を担っている津地域産業保健センターの運営協議会の役員に当医師会会長が就任し、事業実施に向けた支援を行うとともに、従業員50名以上の事業所の従業員の健康管理にあたる産業医については、三重県産業保健研修会の受講を奨めるなどしてその資質の向上を図ってまいりました。

#### (1 3) 医療関係団体等連絡調整事業

日本医師会及び三重県医師会との連携、ならびに県内郡市医師会との情報交換を通じ、住民の健康を守るため、特に、久居一志地区医師会とは津市2医師会連絡協議会を組織し、密接に連携して津市の保健事業の推進に参画するとともに、津歯科医師会、津薬剤師会及び久居一志地区医師会と共同で津市との政策懇談会を開き、市の健康福祉対策についての提言に対する意見交換を行いました。

また、四日市医師会、鈴鹿医師会とは、医療を巡る様々な課題について意見交換を行いました。

なお、「地域の保健・福祉の向上による住民の健康増進を図る事業」のそれぞれの主な実績状況は次のとおりです。

## 平成25年度地域の保健・福祉の向上による住民の健康促進を

### 図る事業の主な実績

#### (1) 医学教育事業

- ① 医学研修と充実と日本医師会生涯教育制度実践の強化
  - ・医学研修会等を158回開催〔主催・共催—88回、後援—70回〕  
会員参加者：258名（但しPCで日医へ一括申告分のみ）
  - ・久居一志地区医師会と合同で臨床集談会の開催  
(H25.11.7)  
参加者：23名（うち会員0名）
  - ・県医師会主催の日本医師会生涯教育講座への参加  
(H25.10.27)
- ② 県医師会主催の産業医研修会への参加
  - 開催回数： 8回                      全員参加延べ人数： 120名
  - 第2回産業医スキルアップ実施研修（H26.2.20）参加者2名
  - 第3回産業医スキルアップ実施研修（H26.3.6）参加者5名
- ③ 会員の資質の向上と会の活性化を図るため、各科医会及び班別に研修会及び情報交換会を開催
  - ・各科医会（9科）：整形外科、産婦人科、小児科、皮膚科、外科、耳鼻科、泌尿器科、眼科、内科
  - ・各班別（6班）：医師会内の地域を6地区に分けて班を構成

#### (2) 健康啓発・広告事業

- ① 市民健康広場（健康イベント）の開催状況
  - ・第24回（こども部会）  
開催日：H25.6.30              参加人数：64名  
内容：講演会〔演題—絵本の読み聞かせとイクメンアドバイス〕、アトラクション、医療相談会等
  - ・第25回（おとな部会）  
開催日：H25.11.17      参加人数：152名  
内容：講演会〔演題—「ロコモティブシンドローム—骨粗鬆症関連骨折について—〕、体力測定〔62名参加〕、骨密度測定〔100名参加〕、体脂肪測定、介護用品展示及び介護相談コーナーを設置

- ・市民健康広場の開催に当たり、津市広告詩、チラシ、新聞折り込み等で広報
- ② 市民健康広場の開催に伴う部会の開催
  - ・市民健康広場（こども部会） 開催日：H25. 4. 9、  
H25. 6. 11
  - ・市民健康広場（おとな部会） 開催日：H25. 8. 19、  
H25. 11. 11、H25. 11. 25
- ③ 市民及び関係機関に関し、当医師会事業等の情報提供の状況
  - ・当医師会の機関誌「安の津医報」を毎月発行
  - ・当医師会のインターネットホームページを開設し、毎月更新  
医療機関紹介掲載：平成25年3月現在158件  
(検索方法－50音順、小学校区分、診療科目)
  - ・各会員の近況報告、情報交換などを目的にした医療情報ネットワークの開設

### (3) 健（検）診事業

- ① 検診に関係する下記の説明会に出席
  - ・津市各種がん検診実施要領説明会（H25. 6. 25）
  - ・特定健診特定保健指導実施要領説明会（H25. 6. 25）
  - ・津市国民健康保険特定保健指導（動機づけ支援）説明会  
(H25. 8. 7)
- ② 平成25年度の健診業務に向けて、津市2医師会連絡協議会の成人保健事業担当部会への出席  
〔津市及び久居一志地区医師会との合同会議〕  
開催回数5回：H25. 4. 30、H25. 8. 7、  
H25. 12. 2、H26. 2. 5、H26. 3. 3  
開催場所：津市役所
- ③ 特定健康診査、長寿医療健康診査、健康増進法健康診査及びがん検診を実施  
〔がん検診の種類〕  
胃がん（内視鏡、X線）、大腸がん、前立腺がん、肺がん（喀痰、X線）、乳がん（X線、エコー）、子宮がん（頸部、頸部＋体部）、肝炎ウイルス検査  
〔乳がん及び肺がんX線の健診数〕
  - ・肺がん－21, 476件
  - ・乳がん－5, 497件



- ④ 肺がん検診読影会の開催状況等
  - ・読影会の開催数：延べ14回（8月～1月の間毎月2回開催、2～3月の間毎月1回開催）
  - ・講師人数：毎回、三重大学医学部附属病院の講師4名を招聘  
〔検診受診者増加のため8月～1月は2グループに分けて実施（2月～3月は1グループにて実施）〕
  - ・読影に関して、デジタルデータ2台（本年度1台購入）での二重読影と肺がんシャウカステン4台との同時読影
- ⑤ 乳がん検診読影会の開催状況等
  - ・乳がん研修会の開催（H25.6.18） 出席者：33名  
（うち会員33名）
  - ・読影会の開催数：延べ8回（8月～3月の間毎月1回開催）
  - ・講師人数：毎回、三重大学医学部附属病院放射線科の講師2名を招聘
- ⑥ 津市健康相談への医師派遣・協力状況
  - ・津市健康づくり推進懇話会へ担当理事等が出席（開催は随時）
  - ・女性のための健康相談会へ担当理事が出席（開催は随時）
  - ・こころの健康相談への出席（開催は随時）
  - ・栄養教室への出席（開催は随時）

#### （4）予防接種事業

- ① 予防接種協力医研修会の開催〔H26.1.14：出席者103名（うち会員71名）〕
- ② 津市2医師会連絡協議会の予防接種部会への出席（H25.7.20、H25.9.3、H25.10.1）

#### （5）母子保健事業

- ① 乳幼児検診部会・事例検討部会の開催（毎月第1木曜日で5回開催）
- ② 津市1歳6ヶ月児健診の実施状況
  - ・津市中央保健センター：医師2名 2回/月 延べ24回
  - ・安濃保健センター：医師1名 1回/月 延べ12回
- ③ 津市3歳児健診の実施状況
  - ・津市中央保健センター：医師2名 2回/月 延べ24回
  - ・安濃保健センター：医師1名 1回/月 延べ12回
- ④ 津市3歳児耳鼻科健診の実施状況
  - ・津市中央保健センター：医師1名 2回/月 延べ24回

(自宅アンケート確認含む)

- ⑤ 津市3歳児眼科健診の実施状況
  - ・津市中央保健センター：医師1名 1回/月 延べ12回
- ⑥ 昨年度に引き続き、熱田小児科クリニック内に地域子育てセンターを開設。〔センターの名称：津病児ディケアルーム「ひまわり」〕
  - ・津市児童虐待防止ネットワーク全体会議（H25.10.10）
  - ・学校保健委員会（H25.10.15）

(6) 学校保健事業

- ① 津市内の児童生徒及び学校職員に対しての健康指導の実施状況
  - ・学校の派遣数＝小学校（35校）、中学校（14校）、その他学校（14校）
  - ・医師の派遣人数＝小児 内科（43名）、眼科（13名）、耳鼻科（13名）
- ② 津市内の児童生徒（対象：小・中学校の第1学年）の心臓検診の状況
  - ・受診人数＝小学校－3, 487名、中学校－1, 573名  
合計－ 5, 060名
  - ・心電図判読の結果、有所見者数  
小学校－53名、中学校－27名 合計－80名
  - ・心電図判読委員会に出席した医師人数 16名  
〔判読委員会の開催＝H25.5.14、H25.6.4の2回実施〕
  - ・有所見者がいる学校の養護教諭に対する心電図説明会を実施  
(H25.6.11)  
〔津市教育委員会は、有所見者が該当する学校長に対して、「心電図検査所見者経過調査報告書」を作成し発送〕
  - ・教育委員会より心電図有所見者経過報告を担当委員長により取りまとめ、安の津医報に掲載予定
- ③ 学校医及び会員を対象に津地区学校保健研修会を開催  
開催日＝H26.1.21 場所＝当医師会館講堂  
参加人数＝45名
- ④ 津市学校保健会主催の研究会に参加（H26.2.20）

(7) 救急医療対策事業

- ① 津市久居休日応急診療所における休日（昼間）診療活動に協力  
〔当会員医師の協力延べ人数：津市＝51名、久居一志地区＝17名〕  
その他、5月連休の耳鼻科医会員独自で在宅当番協力
- ② 津市夜間応急診療所の医師派遣状況
  - ・津市夜間成人応急診療所（場所：津市リージョンプラザ北側）  
当会員協力医師数－69名
  - ・津市休日応急・夜間こどもクリニック（場所：津市大里窪田町）  
当会員協力医師数－14名（大学医師、久居一志地区＝5名）  
〔他に久居一志地区医師会及び三重大学附属病院の医師も協力〕
  - ・「e-MATCHのデモ」研修会（H25.10.3）  
場所：三重大学医学部
  - ・津市休日応急クリニック（場所：津市大里窪田町）  
当会員協力医師＝14名、久居一志地区医師＝5名
  - ・津市応急診療所整備検討会
- ③ 年末年始在宅医協力状況
  - ・昼－2地区（内科及び小児科開設）、4日間8医療機関
  - ・夜－津市夜間成人応急診療所及び津市応急救急夜間こどもクリニック
  - ・耳鼻科会員独自で在宅当番協力
- ④ 津市応急診療所運営に関する会議に出席するとともに、津市休日及び夜間応急診療所の当番打合せ会議に出席
- ⑤ 二次救急関係
  - ・二次救急医療体制協議委員会（輪番10病院代表者会議）への出席  
開催日（3回）：H25.6.19、H25.9.11、  
H26.3.27  
構成団体：三重大学医学部附属病院、津地区医師会、久居一志地区医師会
  - ・二次救急打ち合せ会  
開催日：H25.6.12
- ⑥ 永井・遠山・竹内・岩崎・吉田・津生協・大門の7病院及び久居一志地区医師会の3病院に協力より、休日及び平日夜間の病院群輪番制にて二次救急を実施

(8) 介護保険制度円滑化対策事業

- ① 津安芸介護認定審査会委員は昨年度に引き続き、津市の被保険者の要介護認定、要支援認定当に係る審査及び判定等を実施  
〔委員の人数－当会員48名、任期－平成25～26年度の2年間〕
- ② 市主催の津市介護保険事業関係者懇談会に参加し、主治医意見書に関する改定・注意点等を学び、後日、当医会で研修会を開催
- ③ 主治医意見書に関する研修会の開催{H25. 12. 5参加者－53名  
(うち会員 50名)}
- ④ 介護保険関連事業委員会の開催 (H26. 2. 25)
- ⑤ 市主催の津市介護保険事業推進関係者懇話会 (H25. 11. 21)  
及び平成25年度介護認定審査会委員現任研修会  
(H25. 10. 17)に参加

(9) 地域連携対策事業

- ① 病診連携医学研修会への参加  
構成医療機関：遠山病院、永井病院、武内病院、岩崎病院、津生協病院、三重病院
- ② 久居一志地区医師会と津地区脳卒中地域連携協議会を開催 (開催随時)
- ③ オープンシステム運営協議会の開催  
開催日 (1回)：H26. 3. 17  
参加医療機関：小児専門の二次救急病院である三重病院と津地区医師会の診療所
- ④ 三重大学医学部附属病院産科オープンシステムへの参加
- ⑤ 在宅医療の充実・連携を図るための下記の委員会・研修会等の開催
  - ・在宅医療委員会の開催  
開催日 (1回)：H25. 4. 10
  - ・在宅医療研修会の開催
    1. 第1回在宅医療研修会：H25. 6. 20開催  
参加人数－51名 (うち会員14名)
    2. 「在宅医療で使うオピオイド」：H25. 11. 7開催  
参加人数－27名 (うち会員14名)
    3. 「疼痛管理、在宅でのオピオイドの使い方とそのコツ」  
H25. 11. 21開催 参加人数－87名  
(うち会員10名)

4. 「在宅医療で出来ること」(芸濃地区)  
H25. 11. 21開催 参加人数-21名
  5. 「在宅医療で出来ること」{豊里(高野尾)地区}  
H25. 11. 30開催 参加人数-26名
  6. 「在宅医療の現状と推進」{津市;西郊地区(メッセウイング)}  
H25. 12. 5開催 参加人数-19名
  7. 「在宅医療の現状と推進」{津市;中央地区(センターパレス)}  
H25. 12. 5開催 参加人数-12名
  8. 「在宅医療 ~自宅で受ける医療とは~」(南郊地区)  
H25. 12. 19開催 参加人数-31名
  9. 在宅医連絡会「平成26年医療保険改訂の骨子」など  
(医師のみ)  
H26. 2. 17開催 参加人数-24名(うち会員24名)
  10. 「医療・看護・介護の連携 ~在宅医療の推進について」  
(一身田地区)  
H26. 2. 20開催 参加人数-12名
  11. 「医療・看護・介護の連携 ~在宅医療の推進について」  
(河芸地区)  
H26. 3. 6開催 参加人数-16名
  12. 「自宅で受ける医療とは」{橋北地区(センターパレス)}  
H26. 3. 6開催 参加人数-45名
  13. 「入院からあるいは病院外科から在宅医療の適応となった症例の経過ならびに転帰報告」(他社職種向け)  
H26. 3. 20 参加人数-107名(うち会員17名)
- ⑥ 在宅医療関連のアンケート調査の実施  
・在宅医療アンケート(県医師会、日本医師会)

(10) 災害対策事業

- ① 津市が主催で開催の下記の会議に出席
  - ・大規模災害委員会(H25. 4. 5開催)
  - ・災害時救急マニュアル懇談会(H25. 6. 21)
  - ・大規模災害時の防災対応に関する検討会(H25. 7. 21開催)
  - ・大規模災害検討会{久居との合同(H25. 7. 22開催)}
  - ・大規模災害に備えた総合訓練(H26. 9. 18開催)
  - ・大規模災害対策委員会(H25. 10. 30)
  - ・津市総合防災訓練全体会議(H25. 11. 14開催)

- ・津市総合防災訓練（H25. 11. 24開催）
  - ・津地域災害医療対策会議（H25. 12. 2開催）
  - ・大規模災害時の医療救護所設置等について（H26. 1. 15開催）
  - ・津市防災会議（H26. 1. 29開催）
- ② 大規模災害時の防災対応する研修会  
開催日：H25. 7. 31 参加人数－27名  
（うち会員10名）
- ③ 津市シティマラソンで救急担当医師1名派遣  
開催日：H26. 2. 9 開催場所：安濃中央総合公園
- ④ その他当医師会として災害発生に備え、下記のを準備
- ・県医師会からの支給された災害緊急連絡用携帯電話機を設置  
電話携帯者：会長、救急担当副会長、同担当理事、事務室（事務  
長連絡兼用）
  - ・半自動除細動機一台（医師会館エントランス設置）

(11) 医療安全対策事業

- ① 今年度新規開業医（4件）への医療安全研修
- 新規開業医：津在宅ケア診療所（H25. 5. 7開業）  
ハーモニー津心身クリニック（H25. 7. 2開業）  
丸の内まつなが眼科（H25. 9. 9開業）  
津ファミリークリニック（H25. 11. 1開業）
- ② 医療安全対策委員会への参加  
開催日（4回）：H25. 4. 18、H25. 7. 4、  
H25. 9. 26、H26. 3. 6  
構成団体：津地区医師会医師会、久居一志地区医師会、津歯科医師  
会、津薬剤師会、三重看護協会
- ③ 合同医療安全研修会（2回開催）への参加  
第4回：H25. 6. 27開催 参加人数－114名  
（うち会員29名）  
第5回：H26. 1. 30開催 参加人数－98名  
（うち会員19名）

(12) 産業保健事業

- ① 三重県産業保健・メンタルヘルス対策総合調整推進協議会  
（H26. 3. 13）及び津地域産業保健センター運営協議会  
（H25. 6. 20）に出席

- ② 津地域産業保健センター相談窓口の相談状況
  - ・特定健康相談（サテライト） 105件
  - ・長時間労働者面談指導（サテライト） 24件
- ③ コーディネーターによる事業場訪問件数 196件

(13) 医療関係団体等連絡調整事業

- ① 津市との連携強化を図るため、下記の会議等に出席

- ・津市長と三師会との懇話会

開催日：H25.10.17 参加人数－45名（うち会員8名）

三師会構成団体：津地区医師会、久居一志地区医師会、津歯科医師会、津薬剤師会

- ・津市当局と二医師会との意見交換会 開催日：H25.8.22
- ・裁定委員会{（H25.12.25）役員の任期について}
- ・総務委員会（H25.11.5）
- ・学債運営委員会（H25.7.10）
- ・会館運営費等及び会員会費（H25.7.30）

## Ⅱ 看護専門学校事業

看護を取り巻く環境は、近年の少子高齢化において、人々の健康に対するニーズや価値観が多様化・個別化する一方、医療の高度化・専門化・疾病構造などの変化が著しいなか、それらに適切に対応できる質の高い看護師を養成し、地域の医療・保健・福祉の向上に寄与することを目的に事業を実施しました。

### 〔事業の概要〕

全国的にも社会問題となっている看護師不足の現状を踏まえ、豊かな人間性あふれる専門職業人として、生涯にわたり自己研磨できる能力を備えるとともに、「和顔愛語（わけんあいご）」の精神をもって看護を実践できる看護師を育成してまいりました。

平成21年3月卒業生から毎年国家試験合格率100%を誇っていて、今年度の卒業生40名も全員合格することができました。

※ 和顔愛語とは、仏教用語で一般的に解釈すれば「優しい顔つきと温かい言葉」だが、本来この言葉は、単に顔つきと言葉遣いについて言っているものではなく、「何ものをも受け入れる寛容のこころと慈悲の愛にあふれた暖かい言葉（こころ）」、

つまり、人は「利他のこころ」を備えるべきであることを表した言葉で、本校ではこの精神を全カリキュラムのなかに取り入れている。

### ※ 教育目標

- 1) 生命の尊厳・人格の尊重を基盤とした人間理解と病気や苦難の体験の意味を考えることのできる看護師を育成する。
- 2) 看護に必要な専門的知識、技術、態度を学び、応用できる看護師を育成する。
- 3) 地域に密着し、住民のニーズ、社会の変化に対応出来る看護師を育成する。
- 4) 豊かな感性を育み、自己成長のために自己研磨できる看護師を育成する。



なお、平成 25 年度卒業生の就職状況は次のとおりでした。

卒業生 40 名	(内訳)	1. 津市内医療機関	26 名
		(内 大学病院 2 名)	
		2. 県内医療機関	14 名

また、平成 25 年度の運営業務報告は次のとおりでした。

## 平成 25 年度三重看護専門学校での運営業務報告

### 【学校年間行事等】

- 領域別実習始 (3 年生) (H25.4.8)
- 第 10 回三重看護専門学校入学式 (H25.4.4)  
第 10 期生 44 名入学 (男子 2 名、女子 42 名)
- 津地区医師会医療機関奨学生説明会 (H25.4.4)  
4 医療機関 1 年生対象
- 前期授業始 (H25.4.8)
- 新入生歓迎会 (H25.4.10)
- 定期健康診断 (1 年生・3 年生) (H25.5.1)
- 就職説明会 (H25.5.8)  
8 医療機関 2 年生及び 3 年生 33 名出席
- クリニック体験学習 (H25.5.15)  
18 医療機関 1 年生 45 名参加
- 避難訓練の実施 (H25.5.16)  
地震(津波)を想定して偕楽公園へ徒歩にて避難(1 年生)
- 三重の文化論「伊賀の伝統産業と文化財を探る」バス利用見学旅行  
(H25.6.12) 2 年生 42 名参加
- 研修旅行 (H25.7.17) 2 年生 41 名参加 神戸市  
「人と防災未来センター」他
- 防犯教育・防災訓練の実施 (H25.7.23) 1 年生
- 第 1 回オープンキャンパス・第 10 回文化祭 同時開催  
(H25.7.31) 文化祭 テーマ「三重看 POWER ～最高の一瞬を～」 参加者 高校生 92 名、社会人 10 名、保護者 21 名、予備校生 1 名 計 124 名

- 夏季休業 (H25.8.1~H25.8.31)
  - 第2回オープンキャンパス (H25.8.25)  
参加者 高校生 59名、社会人 19名、保護者 18名、予備校生 1名  
計 97名
  - 領域別実習終了 (3年生) (H25.9.27)
  - 前期授業終 (H25.9.30)
  - 後期授業始 (H25.10.1)
  - 統合実習 (H25.10.10~25)
  - 定期健康診断 (2年生) (H25.10.25)
  - 基礎看護学実習 I (H25.10.28~11.1)
  - 基礎看護学実習 II (H25.11.5~11.22)
  - 創立 10 周年記念式典・講演会開催 (H25.11.10) 出席者 200 名
  - クリスマス会 (3年生) (H25.12.20)
  - 冬季休業 (H25.12.25~H26.1.7)
  - 領域別実習始 (2年生) (H26.1.14~3.14)
  - 看護師国家試験壮行会 (全学年) (H26.2.5)
  - 第 103 回看護師国家試験 (H26.2.16)  
卒業予定者 40 名受験 卒業生 1 名 計 41 名受験
  - 実習・国家試験を語る会 (3年生・2年生) (H26.2.19)
  - 第 8 回卒業式 (H26.3.6)  
卒業生 40 名 (男子 0 名、女子 40 名) 卒業生謝恩会 (津都ホテル)
  - 後期授業終 (H26.3.24)
  - 第 103 回看護師国家試験合格発表 (H26.3.25)  
40 名全員合格 (新卒者 6 年連続 100%合格)
  - 春季休業 (H26.3.25~4.7)
  - 吉田 壽 学校長退任 (H26.3.31)
- 【第 11 期生 平成 26 年度学生募集】
- 平成 26 年度学生募集要項出来上がる。(H25.4.26)
  - 業者主催の進学相談会で説明 (H25.4.23、6.6、6.14、9.18、10.9)
  - 第 1 回高校訪問 (H25.5.20~5.29)  
三重県内公立・私立高等学校 32 校を訪問
  - 三重県下高校 44 校 (高校訪問しない学校) に学生募集要項・ポスター  
を送付 (H25.5.23)
  - 津地区医師会各医療機関へ学生募集要項・ポスター送付  
(H25.5.31)
  - 三重県看護協会主催の「みえ看護フェスタ 2013」参加 (H25.7.6)

- 第2回高校訪問 (H25.10.1～10.7)  
三重県内公立・私立高等学校 13校を訪問
- 推薦入学・入学試験願書受付 (H25.10.15～21)  
出願者 推薦入学 40名
- 推薦入学試験実施 (H25.11.2)  
受験者 推薦入学 40名
- 推薦入学試験合格発表 (H25.11.11)  
合格者 推薦入学 24名
- 社会人入学・一般入学試験(前期) 願書受付 (H25.11.15～22)  
出願者 社会人入学 14名、一般入学試験(前期)75名
- 社会人入学・一般入学試験(前期) 実施 (H25.12.7)  
受験者 社会人入学 14名、一般入学試験(前期)56名
- 社会人入学・一般入学試験(前期) 合格発表 (H25.12.17)  
合格者 社会人入学 2名、一般入学試験(前期)12名
- 一般入学試験 (後期) 願書受付 (H26.2.17～21)  
出願者 35名
- 一般入学試験 (後期) 実施 (H26.3.8)  
受験者 32名
- 一般入学試験 (後期) 合格発表 (H26.3.14)  
合格者 6名
- 入学説明会 (H26.3.27)  
入学予定者 (11期生 40名)

#### 【諸会議等】

- 運営会議 13回開催 (H25.5.29、5.31、6.28、7.24、9.25、10.22、11.27、11.28、12.27、H26.1.29、2.26、3.26、3.31)
- 教務会議 24回開催 (月2回程度開催)
- 職員会議 3回開催 (H25.4.3、10.8、10.30)
- 講師会議 1回開催 (H26.3.19)
- 自己点検・評価委員会 1回開催 (H26.3.18)
- 入学試験委員会 5回開催 (H25.4.10、10.9、11.6、12.11、H26.3.12)
- 学生委員会 1回開催 (H26.3.18)
- 学債運営委員会 1回開催 (H25.7.10)

#### 【その他主な学校業務等】

- 三重県看護学校校長会 役員会・総会 (H25.6.27)

- 市民健康広場への参加（第24回 H25.6.30、第25回 H25.11.17）  
教職員・学生ボランティア参加
- 献血セミナー 三重県赤十字血液センター  
1年生44名（H25.9.24）
- 創立10周年記念誌発刊（H26.3.28）

### Ⅲ 地域包括支援センター事業

地域包括支援センターは平成 17 年の介護保険法の改正で位置づけられ、地域住民の保健・福祉・医療の向上、虐待防止、介護予防マネジメントなどを総合的に行う機関で、各市町村に設置され、保健師・主任介護支援専門員・社会福祉士が専門性を生かして相互連携しつつ業務に当たります。

津市では、地域ケア体制の核となる地域包括支援センターを市内 9 地域に分けて、関係団体に委託設置している。当医師会も平成 21 年 8 月から津中部北部地域包括支援センターとして委託を受け、市内の橋北・東橋内地区の高齢者に対して、心身の健康の保持並びに生活の安定を図るため事業の実施に当たってきました。

#### 〔平成 25 年度事業の概要〕

保健師 2 名、主任介護支援専門員 1 名、社会福祉士 1 名、介護支援専門員 1 名、事務員 2 名を配置し、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活するため可能な限り要介護状態とならないよう相談や健康運動実施等の支援を行うとともに、要介護状態となった場合でも必要なサービスが提供されるよう介護支援専門をはじめとする関係者の連携体制の構築を図りながら事業を進めてきました。

#### (1) 介護予防ケアマネジメント事業

要介護及び要支援になっていない高齢者に対する介護予防プランの作成、及び包括的な介護予防事業の実施及び支援を行いました。

橋北地区・東橋内地区のスクエアステップ教室、ダンス教室等、月に 3 回の健康教室を開催しました。平成 26 年 2 月から、地域主催のスクエアステップ教室から指導依頼があり参加しています。その他、老人クラブや地域のサロンなどからも健康講話の依頼を受けました。

#### (2) 総合相談支援事業

地域に住む高齢者の相談対応、高齢者虐待の防止相談及び成年後見制度の利用促進等により、高齢者が生き生きと生活できる環境整備に取り組みました。

高齢者数が増えるに伴い、相談件数が増えたことと、介護支援専門員や地域住民へ周知されていることもあり、相談件数は増加しています。

#### (3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるには、介護支援専門員、主治医、関係機関

等の連携が重要であり、そのための連携体制づくりとして、津市内の地域包括と共に「津市医療・福祉研修会」を立ち上げました。圏域内の居宅介護支援事業所を対象に、事例検討会を開催したり、介護支援専門員が抱える支援困難事案について後方支援を行いました。

#### (4) 指定介護予防支援事業

要支援者に対する介護予防サービス計画の作成とサービス提供の調整を行いました。

#### (5) その他の事業

- 津市内地域包括の合同行事に参加、津市内の地域包括支援センターとしての統一を図りました。
- 地域の高齢者を支援するためのボランティアとして活動する生活・介護支援サポーターの養成講座を開催しました。  
講座名：生活・介護支援サポーター養成講座
- 地域で認知症を理解し、認知症とその家族を見守る認知症サポーターの養成講座を開催しました。  
講座名：認知症サポーター養成講座
- 地域包括ケア推進のため、地域ケア会議の開催をしました。

また、25年度の地域包括支援センターの主な事業実績は別紙のとおりでした。

## 平成 25 年度地域包括支援センターの主な事業実績

### (1) 介護予防ケアマネジメント事業

#### 【当包括主催事業】

- ダンス教室（毎月 1 回） 開催回数 12 回 参加者数 延 170 人
- スクエアステップ（2 か所で開催、合計月 3 回）  
開催回数 35 回 参加者数 延 828 人
- 上浜公団健康教室（毎月 1 回）  
開催回数 12 回 参加者数 延 56 人
- 二次予防プラン作成 作成件数 23 件

#### 【依頼事業】

- 南立誠地区老人クラブ連合会健康教室  
開催回数 5 回 参加者数 延 155 人
- 老人クラブ健康教室（3 か所より依頼）  
開催回数 3 回 参加者数 延 60 人

### (2) 総合相談支援事業

- 相談件数（訪問・電話） 2,620 件
- 虐待対応件数 160 件（5 名）

### (3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

- 事例検討会 参加者 13 名（H25 年 7 月 16 日）  
対象者：管内介護支援専門員
- 事例検討会 参加者 10 名（H25 年 11 月 12 日）  
対象者：管内介護支援専門員
- 意見交換会 参加者 9 名（H26 年 1 月 21 日）  
対象者：管内介護支援専門員
- 支援困難事例相談 103 件（7 名）

### (4) 指定介護予防支援事業

- 予防ケアプラン作成件数 延 731 件

### (5) その他の事業

- 24 時間体制携帯電話設置
- 津市内地域包括支援センター全体会議（各偶数月）

- 津市内地域包括・在宅介護支援センター中部エリア会議  
(H25年5月・8月・11月・平成26年3月)
- 津市内地域包括支援センター各職種  
(保健師・主任介護支援専門員・社会福祉士)  
専門部会 (随時)
- 生活・介護支援サポーター養成事業  
於：センターパレス、参加者毎回13名  
(H26年2月21日、28日、3月6日、7日、14日の計5回)
- 生活・介護支援サポーター育成事業  
(H26年3月6日) 参加者延40名
- 認知症サポーター養成講座  
(H8月・11月・平成26年2月) 於：イオン津店 参加者数延81人
- 地域ケア会議 (H25年8月)



## IV 介護支援事業

超高齢化社会の進展により、家庭で療養する高齢者が増加し在宅、介護のニーズや癌末期患者のターミナルケアなどの在宅療養のニーズの増加に対応する為、当医師会は平成4年に県下で初めて訪問看護ステーションを立ちあげました。

更に、平成12年に居宅介護支援事業も開始するとともに、当医師会においては在宅医療を担う医療機関の機能強化や他職種を含めた連携の重要性から平成24年在宅医療委員会を立ち上げ増大している在宅医療に的確に対応するため訪問看護ステーション事業と居宅介護支援事業はその要として大きな役割を担ってきました。

なお、在宅医療・看護を「住み慣れた地域で生活を支える」という共通の目的を達成する手段と位置づけられることから在宅医療と看護を一つの事業として実施してきました。

### 〔事業の概要〕

#### (1) 訪問看護ステーション事業

訪問看護は、高齢者や疾患、障害のある人が、医師の判断に基づき住み慣れた地域や家庭で、その人らしく療養生活を送れるように、看護師が医師の指示を受けながら療養生活の援助、指導、褥瘡予防や処置等の医療的ケア、難病や癌患者の終末期医療（ターミナルケア）及びリハビリテーション等の看護サービスを実施しています。

慢性的な訪問看護師不足と小規模のステーションが多い現状で津市内の訪問看護ステーションは12か所であり、その中で実際24時間対応体制を整えているのは数か所です。当ステーションでは地域の医師、特に在宅支援診療所、在宅支援病院との連携のもと対応困難な療養者、難病ターミナルなどの医療依存度の高い利用者、更に独居、生活困窮者等福祉行政とも連携しながら24時間365日利用者が安心して地域、在宅で過ごせるように支援しています。また本会の訪問看護ステーションは県内では最も早くから事業を開始し、先導的役割をはたしてきた為職員である看護師に対して講師依頼も多く三重県看護協会訪問看護養成講習会等の講師を務めてきたが、ターミナル、難病などの困難事例が増加したことから平成23年度から講師養成に応えられない現状であります。しかし、地域の看護教育支援の為三重県立看護大学、三重看護専門学校の看護実習生も以前と同様に当会の居宅介護支援センターと共に受け入れ人材育成に貢献しております。また訪問看護ステーション連絡協議会地区役員として三重県内の訪問看護ステーション間の業務の連携を図り共通課題に対する共同事業、地域住民の在宅ケアの為津市内のステーションとの連携のもと訪問看護の充実

推進を図るように努めております。職員一同、必要な時にどんな事例にも対応できるように日々自己研鑽に努め多忙なスケジュールを調整して沢山の研修に参加いたしました。

## 2) 居宅介護支援事業

介護支援センターは、介護支援専門員（ケアマネージャー）が介護保険の要介護認定者に対して自宅において必要な居宅サービスを適切に利用できるよう、心身の状況・生活環境等を勘案し「居宅サービス計画（ケアプラン）」を作成しています。

また、計画に従ったサービスが提供されるよう「サービス担当者会議」「退院時カンファレンス」を開催し、介護支援サービス事業者や医療関係者との連絡調整を図っています。

なお、医師会の運営であることや介護支援専門員が看護師や保健師の資格を有していることなどから、医療依存度の高い相談が寄せられていることが多く、利用者・家族の立場に立ち厚生かつ誠実な対応を関係機関と綿密に連携して居宅サービス計画を作成しています。

また、公益財団法人介護労働安定センター三重支所などが行う介護職員基礎研修会、ケアサポート講習などへ介護支援専門員講師として派遣するなど介護に係る人材育成に寄与するとともに、当会訪問看護ステーションと同様に看護学校の実修生の受け入れを行い、看護師の養成にも貢献しています。

さらに、県内外の市町村より、介護認定調査の依頼を受け医療機関や介護施設を訪問し調査を実施しています。

なお、平成25年度の介護支援事業の実績は次のとおりでした。

## 平成 25 年度介護支援事業の実績

### (1) 訪問介護ステーション事業

#### (会議)

- 2/25 運営協議会 (予算案について) 毎月担当理事に事業実績報告
- ステーション会議 (毎月第 2 金曜日開催 その他随時)
- 三重県訪問看護ステーション連絡協議会地区代表役員会議  
4/22. 6/30. 8/25. 9/19. 10/2. 12/11. 2/16
- 三重県訪問看護ステーション連絡協議会地区委員会 (業務委員会)  
6/30、8/25 10/2 2/16
- 三重県訪問看護ステーション津地区管理者会議  
5/16 6/20 7/19 9/19 10/19 11/21 12/19 1/16 2/20 3/20
- 11/11 2/6 三重大学難病医療連絡協議会
- 6/30 三重県訪問看護連絡協議会総会出席
- 9/10.9/30.10/2.10/4 医師会就業規則について 4 事業所の合同会議
- 11/6 三重県看護協会支部ネットワーク会議 (看護協会副会長、理事来所)
- 11/10 三重看護専門学校創立 10 周年記念式典出席
- 11/8 三重県立看護大学実習打ち合わせ会議
- 11/11 三重大学難病医療連絡協議会
- 11/19 松阪医師会訪問看護ステーション管理者と現状報告会  
(研修会)
- 4/6 在宅高齢者における栄養に関する課題と今後の展望  
名古屋国際センターにて 1 名出席
- 4/18 中勢認知症集団会 県庁舎にて 1 名出席
- 6/15 訪問看護スキルアップ研修会 看護研修会館 2 名出席
- 6/20.11/7 在宅医療福祉連携研修会 医師会館にて 3 名出席
- 6/30 平成 25 年度訪問看護ステーション連絡協議会第 1 回中央研修  
(医療と介護が穏やかな死を邪魔する) 看護研修会館にて 4 名出席
- 7/13 中勢緩和ケア 三重県文化会館にて 1 名出席
- 7/17 平成 25 年度介護保険サービス集団指導  
三重県文化会館にて 1 名出席
- 7/21 訪問看護連絡協議会津地区ブロック研修  
(精神訪問看護) センターパレスにて 3 名出席
- 8/1 津北部医療福祉地域連絡会 芸濃総合支所会議室にて 1 名出席
- 8/25 平成 25 年度訪問看護ステーション連絡協議会第 2 回中央研修  
(高齢者の方の死とグリーフケア) 看護研修会館にて 3 名出席

- 9/19 三重大学緩和ケアセミナー 三重大学にて 2名出席
- 10/17 平成 25 年度難病在宅ケア支援者研修会 津庁舎にて 2名出席
- 10/19 三重県訪問看護ステーション連絡協議会 津地区ブロック研修  
(在宅緩和医療と訪問看護との連携)  
センターパレスにて 5名出席
- 10/27 三重県訪問看護連絡協議会中勢地区ブロック研修  
(ひとり暮らしの方の看取り) 看護研修会館にて 5名出席
- 11/4 平成 25 年度中部医師会連合共同利用施設連絡協議会出席  
(地域医療と地域包括ケアを支える医師会協働利用施設)  
岐阜グランドホテル 1名出席
- 11/16 三重県訪問看護連絡協議会 津地区ブロック研修  
緩和ケア病棟のシームレスな連携をめざして 看護研修会館 3名出席
- 11/10 看護の可能性への挑戦 津地区医師会 2名出席  
(在宅緩和ケア病棟のシームレスな連携をめざして)津生協病院えがおにて  
4名出席
- 11/25 三重県公安委員会 安全運転管理者講習会 メッセウイングにて 1名  
出席
- 11/28 介護保険事業指定更新手続き
- 12/1 三重県難病研修会 三重大学病院にて 1名出席
- 12/1 第 6 回みえ PON セミナー 三重県総合文化センターにて 1名出席
- 2/8 三重県訪問看護連絡協議会 津地区ブロック研修  
(訪問看護ステーションと在宅支援診療所との連携)  
津リージョンプラザにて 5名出席
- 2/16 三重県訪問看護連絡協議会管理者研修  
(訪問看護におけるリスクマネジメントと介護報酬)  
伊勢シテイホテル 1名出席
- 3/15.16 第 18 回在宅ケア学会学術集会 1ツ橋大学にて 1名出席
- 3/25 平成 26 年度社会保険診療報酬改定説明会  
看護研修会館 1名出席  
(その他)
- 職員 健康診断 5月～11月で実施
- 職員 インフルエンザ予防接種 11月実施
- 看護学校実習生受け入れ  
三重看護専門学校 5月～10月  
三重県立看護大学 11月～2月  
訪問看護推進事業による訪問看護師同行実習

《運営状況》

職員 (管理者 1名 看護師 4名 事務 1名)  
利用者数 延べ 458 名 (医療 184 介護 277 )  
訪問回数 延べ 2597 回 (医療 1231 介護 1366 )  
休日訪問 医療 47 介護 17  
正月盆休み 医療 2 介護 6  
携帯電話対応 435 (時間外 190) (休日 98) (深夜 13) (利用者以外 134)  
TEL対応後臨時訪問 18  
担当者会議 47回 退院調整カンファレンス 17回  
グリーンケア 7回訪問 (在宅看取り 4)

(2) 居宅介護支援事業

《研修会等の出席状況》

- ・ 5月 8日 ケアマネージャ協議会総会 センターパレス 1名
- ・ 6月20日 津平成25年度在宅医療連携研修会  
津地区医師会館 1名
- ・ 7月11日 平成25年度介護保険集団指導  
三重県総合文化センター 1名
- ・ 7月16日 津中部北地域包括センター意見交換カンファレンス  
津地区医師会館 1名
- ・ 8月29日 介護保険指定更新手続説明会及び管理者研修会  
津地区医師会館 1名
- ・ 8月30日 認定調査員現任研修 津地区医師会館 1名
- ・ 9月 5日 モルテンエアマット勉強会 津地区医師会館 1名
- ・ 10月17日 平成25年度難病在宅ケア支援者研修会  
津地区医師会館 1名
- ・ 11月12日 第5回地域意見交換会 津地区医師会館 1名
- ・ 3月20日 津地区医療福祉研究会 津地区医師会館 1名

《運営状況》

職員 介護支援専門員 4名  
(看護師 1名 保健師 1名 介護福祉士 2名)  
要介護プラン 943件  
要支援プラン 107件

研修会等への講師派遣状況

区分	講習名	実施日(期間)	実施場所	受講者数
養成研修	介護労働講習610時間 (実務者研修450時間)	平成25年10月 2日(水) 、 平成26年3月13日(木)	三重県勤労者 福祉会館	28名
	コミュニケーション技術	平成25年11月8日(金)		
		平成25年11月19日 (火)		
		平成25年11月26日 (火)		
		平成25年12月6日(金)		
短期専門	介護現場における 医療の知識	平成25年6月13日(木)	三重県勤労者 福祉会館	90名
ケアサポート講習	新任介護職員教育研修福祉施設の職員として求められるもの 職業人として:接遇、マナー	平成25年4月 3日(水) 平成25年4月10日(水) 10:00~12:00	南勢カトリック ケアハウス	3名
	介護事故防止研修 ~転倒骨折を防止するための工夫、誤薬をなくすためのポイント~	平成25年5月15日(水) 9:30~11:30	特別養護老人 ホーム くすのき園	15名
	就業のポイントと報告・連絡・相談 のスキル	平成25年5月22日(水) 10:00~11:30	名張市シルバー 人材センター	52名
	介護事故防止研修~転倒骨折を 防止するための工夫、誤薬をなく すためのポイント~	平成25年6月6日(木) 18:30~20:30	玉垣あんしん館	15名
	ご利用者に対する接遇・マナー	平成25年6月20日(木) 13:30~15:00	桑名市シルバー 人材センター	19名
	ヒヤリハット事例に学ぶ課題解決訓 練~問題解決力を高める~	平成25年7月3日(水) 13:00~15:00	ベルセ島崎	22名
	就業のポイントと報告・連絡・相談 のスキル	平成25年7月23日(火) 13:30~15:00	いせトピア	30名
	コミュニケーションの取り方	平成25年8月7日(水) 13:30~15:00	桑名市シルバー 人材センター	11名

ケアサポート講習	訪問介護と通所介護に関連する接遇セミナー	平成25年8月28日(水) 18:00～20:00	伊賀福祉	30名
	就業現場におけるヒヤリハットを防ぐために	平成25年9月5日(木) 13:30～15:00	桑名市シルバー 人材センター	15名
	就業現場におけるヒヤリハットを防ぐために	平成25年9月14日(土) 10:00～11:30	四日市市シルバー 人材センター	35名
	接遇・マナーについて	平成25年10月18日 (金) 17:30～19:30	特別養護老人 ホーム エイジハウス	38名
	感染症予防と対策 報告・連絡・相談について	平成25年12月10日(火) 13:30～15:30	桑名市シルバー 人材センター	20名
	接遇	平成25年11月8日(金) 18:00～19:00	万亀会館	96名
		平成25年11月19日(火) 18:00～19:00		
		平成25年11月26日(火) 19:00～20:00		
	記録の必要性と書き方	平成25年11月22日(金) 18:30～20:30	玉垣あんしん館	20名
	利用者の満足度を高める接遇マナー	平成25年12月17日(水) 13:30～15:00	名張市シルバー 人材センター	45名
		平成26年1月15日(水) 13:30～15:00	四日市市シルバー 人材センター	47名
		平成26年1月22日(水) 13:30～15:00	松阪市 産業振興センター	40名
	医・食同源の食生活	平成26年2月6日(木) 13:30～15:30	桑名市シルバー 人材センター	18名
介護現場における身体拘束について	平成26年3月19日(水) 18:30～20:30	特別養護老人 ホーム高砂寮	80名	

## V. 会館利用事業

当医師会館の一部を、産業保健センターの事務室として長期貸出をするとともに、講堂、会議室等を医療関係者が必要とする場合個別貸出をし、使用に必要な備品についても貸出をいたしました。

### [主な貸出状況]

- ・年間契約による貸出状況            津地域産業保健センター
- ・個別貸出（講堂等）状況  
    平成25年度の貸出件数は、25件で昨年度より20件減少しました。  
    貸付料については1,305,300円で、昨年度より150,700円減少いたしました。

## VI. 相互扶助事業

(1) 全会員に対して医師会の情報提供及び連絡調整を行いました。

### [主な事業実績]

- ・毎月発行の「安の津医報」で、会員相互の情報交換の実施
- ・ホームページで、会員向けの各種事業の案内
- ・県医師会広報への協力
- ・地域別班活動の調整事業

(2) 会員の相互扶助と福祉増進に努めました。

### [主な事業実績]

- ・会員及びその家族への慶弔
- ・会員及びその家族が参加し、研修旅行を実施
- ・各種クラブへの助成
- ・医師国民健康保険組合の健康診断料の一部助成

(3) 全会員に対して、医業経営の改善合理化と医療制度の周知徹底に努めました。

### [主な事業実績]

- ・医業経営課題研修会の開催
- ・各種税務講習会の開催
- ・各種医療制度講習会の開催
- ・社会保険集団指導の開催